

～ 幸せと豊かさ ～

広島・長崎そして終戦の“鎮魂”の八月は、東北大震災・原発事故、更に超円高である。終戦後、66年を経た今、占領政策が花を開き実を結び骨抜きにされた我が国は、精神的荒廃は基より墮落した政治経済が加わりこの国の行く末が案じられる

八月を英語では、August(オーガスト)。皮肉にも、“神聖な”と略されている。

唯一、救いなのは、我が国象徴である天皇・皇后両陛下や国際的元首とも言える国連事務総長が体力と日程をやりくりしての避難所への訪問に胸が熱くなる。

今月は、「生長の家」で講師として大活躍の吉野さんから、題して「幸せと豊かさ」です。“神聖な”心が取り戻せるものと思います。

例会の締めは、鈴木靖岳氏より『万世の為に太平を開かんと欲す』を吟じて頂きます。皆さまのご参加をお願いします。

記

1. 日時 : 平成 23 年 8 月 28(日) AM 8 時 ～ 11 時
2. 場所 : 平山建設(株) 会議室(6F)
成田市花崎町 795
電話 0476-23-1111

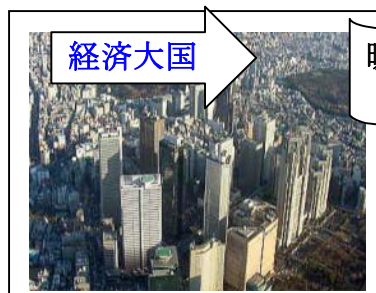
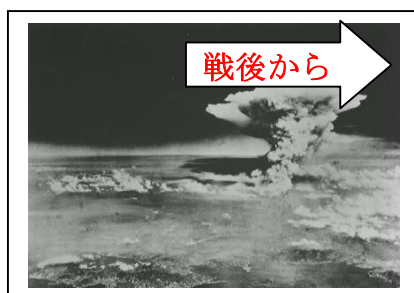
<交通案内> 京成成田駅東口徒歩 5 分、JR 成田駅徒歩 8 分 駐車場有り。

3. 会費 : 1000円
4. 演題 : ～幸せと豊かさ～
5. 講師 : 吉野 勝 氏
6. プロフィール

: 捕鯨船の無線通信士として南氷洋、北洋捕鯨に従事(10年)。その後、船舶管理業務を40余年担当。
: 昭和51年捕鯨統合会社に移籍、平成6年から宗教法人生長の家千葉県教化部事務局長。
: 平成11年、北海道室蘭教区の布教責任者として1年間勤務。
: その後平成14年茨城教区の布教責任者で3年間勤務。
: 平成17年3月退職、房総半島勝浦市の実家に戻る。

7. レジューメ

- ①「真の豊かさ」とは・・・大震災から学ぶもの
- ②「心の豊かさ」こそが、社会を変革する
- ③「こころ」についての考察
- ④「心の法則」を駆使して運命を改善する
- ⑤「人間の生き方」とは・・・体験談から学ぶ



～ “愚者は経験に学び” “賢者は歴史から学ぶ” ～

芹山先生の干支の資料から、

「辛卯」（かのと・う）」 “基本を踏み、筋道を立て、断固実行して困難を克服繁栄へと導く” という意味の年で、怠ると、辛い目にあうということでした。

芹山さんからの資料から改めて歴史をひもとけば、

<百二十年前 明治 24 年 (1891 年) は>

- ・板垣退助、議員 40 名で立憲自由党結成 (1 月) その後自由党・帝国議会議事堂全焼 (1 月)
- ・第一次松方正義内閣 (山県内閣総辞職) (5 月) ・東京音楽学校卒業式で「君が代」初斉唱 (7 月)
- ・日本鉄道、上野・青森間東北本線開通 (東京・青森間全通) (9 月)
- ・大津事件 (ロシア帝国皇太子・ニコライ暗殺未遂) である。
- ・濃尾大地震発生 (マグニチュード 8)

<六十年前 昭和二十六年 (1951 年) は>

- ・共産主義が浸透、GHQ によりレッドパージ国家復興の障害が除去。困難を乗り越えた。
- ・公職追放も解除、日米講話条約・安保条約
- ・第 1 回 NHK 紅白歌合戦放送 (1 月) ・第 1 回アジア競技大会 (インド) (3 月)
- ・マッカーサー、連合軍最高司令官を罷免 (4 月)
- ・ボストンマラソン日本初参加。田中茂樹優勝 (4 月)
- ・NHK, TV 実験実況プロ野球中継 (6 月)
- ・日本航空発足 (8 月) ・
- ・旧国技館で初のプロレス試合 (力道山対ブラウズ) (10 月)
- ・左右社会党分裂。

★ 昨今のダラ菅内閣の体たらく、民主党の分裂危機、そして東日本の未曾有の大震災の発生。

今日の世相を見るに、干支「辛卯」（かのと・う）」は見事に予見していたかの如くである。

特に、地震・津波・原発事故は、電力を中心とするエネルギー大量消費を前提とする高度文明の利便性に浸り切っていたことに対する警鐘であり猛反省を促している。

「辛卯」（かのと・う）」の年は、“自然災害や思わぬ事態が生ずる事があり、基本に立ち帰り、思い切った処理がなされなければ、紛糾、混乱は免れない”としている。

今、電力業界へのパッシングは発電・送電分離の無責任な議論で色めき立っているが、今の 9 電力体制は六十年前の昭和 26 年であった。

電力の鬼と言われた松永翁の並々ならぬ尽力の結果、安定した電力の供給体制が敷かれたのである。その後、「三公社五現業」取り分け国鉄なり電電公社が民間に移行していったのは、電力が見本となっていたからである。

歴史は繰り返すと言うが、色々な出来事を見るに何とも不思議なことである。

効を制したマッカーサーの「3 R・5 D・3 S」政策 <参考>

- ・ 3 R とは : Relief (救済) Recovery (回復) Reform (改革)
- ・ 5 D とは : Disarmament (武装解除) Demilitarization (非武装)
Decentralization (中心排除主義) Disindustrialization (航空機を作らせない)
Democratization (民主化の徹底)
- ・ 3 S とは : Spots (スポーツ) Screen (映画、テレビ等) Sex (セックス産業)。

加えて、誤った個人主義・権利主義・自由主義が教育・道徳界に浸透。

取り分け、偽造を暴く検察が、善人を悪人に仕立てるとは「世も末」と言いたくなる。

以上